

分野	科目名	配当年次	開講期	
専門分野 I	基礎看護援助技術V	1 年次	後期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1 単位 (30 時間)	30 時間	石丸 綾佳 専任教員	有	
授業の概要	薬物療法の意義や看護師の役割、安全で確実な与薬を理解し、効果的な援助方法を学ぶ。使用物品の種類や数が多いため、物品に触れ体験することで薬物療法のイメージができるようにする。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物療法の意義と看護師の役割を理解する。 2. 各与薬法について学び、効果的な援助方法を理解する。 3. 薬物療法を受ける患者の心理を理解し、患者への配慮を考えることができる。 			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	薬物療法の意義と役割、薬物療法に関する法律	講義	
	2	薬物の種類と取り扱い方、薬物の吸収・排泄のメカニズム	講義	
	3	薬物療法における安全管理、与薬に関する指示について、ダブルチェック、6R	講義・演習	
	4	内用薬の種類と与薬方法	講義	
	5	外用薬の種類と与薬方法	講義	
	6	内用薬・外用薬の与薬演習（軟膏、座薬、貼用剤）	演習	
	7	注射薬・注射器の取り扱い、バイアル、アンプル	講義	DVD
	8	注射器の取り扱い、薬液の吸い上げ演習	演習	
	9	皮下注射、筋肉注射、皮下注射の目的と方法	演習	DVD
	10	皮下注射、筋肉注射、皮下注射 モデル人形を使った実施	演習	
	11	静脈内注射の目的と方法	講義	DVD
	12	点滴静脈内注射の目的と方法、滴下数の計算	講義	DVD
	13	静脈内注射、点滴静脈内注射の準備、モデル人形を用いた実施	演習	
	14	中心静脈注射（高カロリー栄養法）について、中心静脈注射を行う患者の看護	講義	DVD
15	輸血法について、輸血を行う患者の看護	講義	DVD	
評価	筆記試験 100点			
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 石塚睦子：実習・臨床で必ず役立つ薬と注射の本 わかりやすい与薬 第4版 医学評論社 2010 2) 高屋尚子：新人ナース・指導者必携！ 安全で確かな与薬①② インターメディカ 2007・2009 3) 安藤郁子：根拠と写真で学ぶ看護技術2 観察・処置を支える方法 中央法規 2011 4) 五味田裕：臨床場面でわかる！くすりの知識 14 場面と 10 ケースのおさえておきたいやっちはいけない！ 南江堂 2013 5) 岡庭豊：看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 第1版 メディックメディア 2013 			
備考				